

本 会 報

学会だより

◇ 常任幹事会記録

開催日：平成15年11月29日

場 所：東京大学大学院農学生命科学研究科会議室

出席者：会長 佐野芳雄，副会長 喜多村啓介，平田豊，堤伸浩，門脇光一，根本博，谷坂隆俊，森川利信，川上直人，中村郁郎，貴島祐治

次期学会役員の人事，学術会議，SABRAO および2005秋季大会，中西印刷および誠広社との契約更新等について討議した。

◇ 平成16年度日本農学賞受賞者の決定

平成16年度日本農学賞受賞者の選考が平成16年1月26日学士会館で行われ，本学会から武田和義会員が受賞することになりました。

集会の案内

◇ 日本農学大会の開催

日時：平成16年度4月5日（月）午前10時より

会場：東京大学山上会館

内容：(1) 日本農学賞授与 (2) 読売農学賞授与 (3) 受賞者講演 (4) シンポジウム「農が支える安心・安全な暮らし」 (5) 受賞祝賀会

◇ 第7回国際植物低温適応会議 (IPCHS) の案内

標記の会議 (IPCHS) は、「植物の寒冷環境適応の基礎的研究と応用研究」の進展のため，世界中の関連研究者を一同に集めて開催される。

第7回 IPCHS は2004年7月10日から15日までの6日間，北海道大学学術交流会館において，開催される。詳細及び会議申し込みは下記ホームページを参照，<http://www.agr.hokudai.ac.jp/7ipchs/>

談話会だより

◇ 岩手育種談話会

第17回岩手育種談話会

2003年5月30日 岩手大学農学部「脂肪酸組成鍵酵素の増強による植物の改良」佐々木幸子（(株)コンボン研究所）

第18回岩手育種談話会

2003年12月10日 岩手大学農学部「ハクサイの晩抽性育種」由比進（(独)東北農業研究センター），「種苗業界の動向—国際化と地域化—」渡邊穎悦（(株)渡辺採種場）

◇ 中部地区談話会

第11回講演会 平成15年12月6日（土）於 三重大学生物資源学部

(1) 話題提供 耐暑性ジャクナゲの育種と普及：倉林雪夫（赤塚植物園）／野菜のマーカー育種に関する最近の知見：福岡浩之（野菜茶業研究所）

(2) 一般講演 ハクサイ根こぶ病菌の病原性分類法：畠山勝徳（野茶研）／カーネーション萎ちょう細菌病の抵抗性の簡易検定方法：小川ちひろ¹⁾・大石一史²⁾・成田玲子²⁾・神戸三智雄²⁾（¹⁾愛知農業大学校・²⁾愛知農総試）／Real-time RT-LAMP法によるキクスタントウイルスの検出：新美善久¹⁾・福田至朗²⁾・大石一史²⁾・神戸三智雄²⁾（¹⁾愛知農業大学校・²⁾愛知農総試）／寒冷地向け早生，高製パン適性小麦新品種「ゆきちから」の育成：吉川亮¹⁾・中村和弘²⁾・伊藤美環子¹⁾・伊藤裕之³⁾（¹⁾野茶研・²⁾東北農研・³⁾北海道農研）／*Amaranthus caudatus*における種子貯蔵デンプンの遺伝様式：吉田朋代¹⁾・根本和洋²⁾・南峰夫¹⁾・松島憲一¹⁾（¹⁾信州大院農・²⁾信州大農）／イネカルス形成に関する組織学的解析：元田譲・服部一三（名大院生命農学）／ふ系71号の矮性遺伝子 *d50* の同定：佐藤かんな¹⁾・芦苅基行²⁾・間瀬浩平¹⁾・田村克徳³⁾・松岡信²⁾・片山義博¹⁾・北野英己²⁾（¹⁾東京農工大BASE・²⁾名大生物機能開発利用研究セ・³⁾九州沖縄農研）／新規矮性変異体は優性遺伝子 *Twisted dwarf 1* によって制御されている：春原英彦・河合隆行・北野英己（名大生物機能開発利用研究セ）／岐阜県と富山県におけるスギ (*Cryptomeria japonica*) の花粉アレルゲン Cry j 1 量の調査：古賀由実子¹⁾・山内泰成¹⁾・斉藤真己²⁾・古田喜彦¹⁾（¹⁾岐阜大農・²⁾富山林技セ林業試）／普通ソバ (*Fagopyrum esculentum*) における高ルチン系統への自家和合性の導入：伊賀正隆¹⁾・南峰夫¹⁾・松島憲一¹⁾・根本和洋²⁾（¹⁾信州大院農・²⁾信州大農）／サツマイモ野生種におけるS遺伝子座領域の発現解析：榊原洋子・Rubens Norio Tomita・平嶋奈津子・内山美奈・土屋亨・神山康夫（三重大生資）／オオムギ野生種におけるS遺伝子座マッピング用PCRマーカーの作出：栗田木綿子・神山康夫・掛田克行（三重大生資）

◇ 北海道談話会

例会

第223回

テーマ：「持続的生産に向けた農耕地の窒素管理」 日時：平成15年9月8日 会場：北海道大学北方生物圏フィールド科学センター

1. カバークロップを導入した不耕起マルチ圃場での作物生産 荒木肇（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター）

2. 草地緩衝帯による地下水汚染の抑制 早川嘉彦 (北海道農業研究センター畜産草地部)

3. Contribution of symbiotic N₂ fixation to a sustainable arable field management

Dr. Schmidtke Knute (ゲッティンゲン大学, ドイツ)

第 224 回

演者: Michael W. Humphreys (Institute of Grassland and Environmental Research, UK) 演題: The Lolium and Festuca complex — a model for designer breeding 日時: 平成 15 年 10 月 1 日 会場: 北海道大学農学部

第 225 回

演者: 矢野昌裕 (独立行政法人 農業生物資源研究所) 演題: 「イネの自然変異—遺伝子機能解析のための新たな研究資源—」 日時: 平成 15 年 10 月 7 日 会場: 北海道大学農学部

第 226 回

演者: Jai Gopal (Principal Scientist, Division of Crop Improvement Central Potato Research Institute, Shimla, India) 演題: “Possibility of *in vitro* selection for potato breeding” 日時: 平成 15 年 11 月 25 日 会場: 北海道大学農学部

第 227 回

テーマ: 「小麦の種子タンパク質に関する研究の近年の展開」 日時: 平成 15 年 11 月 27 日 会場: 北海道農業研究センター

1. コムギ生地物性と硬軟質に関する遺伝子と対応するタンパク質の解析 池田達哉 (近畿中国四国農業研究センター)

2. 2次元電気泳動法による小麦品種特異的タンパク質の検出と小麦粉原料小麦品種の判別 八幡江梨子 (北海道グリーンバイオ研究所)

3. 製パン適性に及ぼすグルテニンタンパク質の影響と育種への利用 池口正二郎 (ホクレン農業総合研究所)

4. タンパク質の特性を生かした小麦の用途開発 山内宏昭 (北海道農業研究センター)

年次講演会 日時: 平成 15 年 12 月 6 日 会場: 北海道大学学術交流会館

イネの第 6 染色体セントロメア近傍に座乗する生殖的隔離関与遺伝子群: 池永充伸・小出陽平・松原一樹・佐野芳雄/アジアイネとアフリカイネの種間雑種不稔遺伝子 S1 の解析: 堀米綾子・西本大祐・小出陽平・大西一光・長野宏則・貴島祐治・佐野芳雄/北海道品種の環境適応性に関する遺伝解析: 低温抵抗性について: 安達美江子・石郷岡典子・大西一光・佐野芳雄/イネ脱粒性の発育遺伝: 紺谷学・高木恭子・堀内優貴・齋藤久美・大西一光・佐野芳雄/*se-pat* 遺伝子近傍領域の分子進化: 上床修弘・小笠原光洋・萩原 W. 英悟・松原一樹・佐野芳雄/イネゲノムに見出された Rice Tungro Bacilliform virus 様配列 (ERTBV): 神田正典・國井基行・長野宏則・佐野芳雄・

貴島祐治/台中 65 号の早生準同質遺伝子系統の導入親由来地での出穂評価: 伊藤勇樹・佐野芳雄・清水博之/イネ「Italica Livorno」を用いた低温発芽性の QTL 解析: 関口博史・佐藤毅・木内均・野々上慈徳・竹内善信・安藤露・林少楊・矢野昌裕・藤野賢治/北海道のイネ品種の出穂日に関する感光性遺伝子の同定: 藤野賢治・野々上慈徳・山内歌子・矢野昌裕/2003 年, 水稲新品種「渡育 240 号」の不稔状況: 田中一生・尾崎洋人/オーチャードグラス日ロ栄養系における飼料成分の親子間相関: 眞田康治・高井智之・山田敏彦/過去 30 年間に北海道で栽培されたトウモロコシ 6 品種の乾物生産および子実収量特性の比較: 梶原靖久・深山徹・岩間和人・実山豊/SSR マーカー多型による F1 品種由来のトウモロコシ自殖系統の系列分け: 榎宏征・濃沼圭一・三木一嘉/引倒し力測定法によるトウモロコシ耐倒伏性検定法の北海道における有効性: 三木一嘉・濃沼圭一・榎宏征/キンギョソウ斑入り出現パターンに基づいたトランスポゾン転移機構の解析: 村上賢悟・佐野芳雄・貴島祐治/北海道全域から収集した大豆のイソフラボン含有量~品種および栽培地による差異~: 谷藤健・加藤淳/北海道ダイズにおける開花期に関する QTL の同定: 船附秀行・高橋良二・松葉修一・川口健太郎・佐藤裕/インフラテック 1241 によるダイズの子実成分分析に関する検量線の評価: 山崎敬之・白井滋久/ダイズ草型が普通型コンバイン収穫適性に及ぼす影響: 田中義則・鈴木剛・柴田秀己・湯本節三/2003 年の冷害年における十勝管内の大豆生育: 萩原誠司・大西志全・白井滋久・山崎敬之・鈴木千賀/インゲンマメにおける就眠運動の品種間差異: 佐藤肇/葉柄汁液中の硝酸濃度と馬鈴薯生育の関係: カルビーポテト(株)/短期冷蔵におけるばれいしょ成分の変化およびそれが高温加熱後のアクリルアミド生成量に及ぼす影響: 高田明子・遠藤千絵・小野裕嗣・忠田吉弘・箭田浩士・森元幸・吉田充/バレイショ育種におけるゲノム合成分解育種法の適用: 小林晃・高田(小原)明子・津田昌吾・森元幸/早晩性, 根量および育成年次の異なるバレイショ 10 品種における施肥反応性: 渡辺丈洋・岩間和人・実山豊/コムギ組換え自殖系統群および近親同質系統群を用いた半おい性遺伝子と根貫入力の関係の解析: 久保堅司・実山豊・岩間和人・渡部信義・柳沢朗・三熊敏弥・古道郁恵/2003 年における春まきコムギの多収要因: 佐藤導謙/中国チベット高原と北海道で栽培した春播きコムギにおける登熟期間中の乾物生産および子実収量の比較: 藤村恵人・石培礼・岩間和人・張憲洲・実山豊/再構成小麦粉調製のためのグルテン調製法: 田中裕子・橋本直人・野田高弘・山内宏昭・三浦秀穂/硬質秋まき小麦における穀粒硬度およびマイクロ SDS 沈降量の選抜効果: 西尾善太・高田兼則・伊藤美環子・船附稚子・入来規雄・田引正/強力秋播小麦 (HRW) の生地物性に関連する低分子量グルテニン遺伝子: 船附稚子・高田兼則・加藤明・斉藤浩二・田引正・伊藤美環子・西尾善太・船

附秀行・山内宏昭／秋播コムギ品種 *Munstertaler* の雪腐病抵抗性：入来規雄・川上顕・吉田みどり・西尾善太／コムギ第4同祖群染色体の種子休眠性 QTLs のマッピング：森正彦・内野紀彦・加藤清明・三浦秀穂／コムギ赤粒品種×白粒品種交雑から得られた白粒系統の種子休眠性変異：金丸京平・仲田尚子・三浦秀穂／コムギAゲノム種における順化症候群形質の QTL マッピング：大西郁実・金丸京平・三浦秀穂・笹隈哲夫／秋まき小麦品種における穂発芽抵抗性の改善V低温連続降雨条件下での低アミロ耐性系統の選抜：西村努・柳沢朗／北海道で発生している赤さび病菌に対する有用抵抗性遺伝子の探索：田引正・中村和弘・西尾善太・伊藤美環子・池口正二郎／小麦赤さび病抵抗性遺伝子 *Lr9* を導入した春まき小麦系統の特性（予報）：筒井一郎・山下耕一郎・長谷川明彦・池口正二郎／畑地雑草の生態と防除技術 第2報 タデ科雑草の出芽特性：石川枝津子／直播栽培によるテンサイ一代雑種の葉部、冠部および根部の乾物生産性：大瀧直樹・岡崎和之・中司啓二／野生ビートに由来する雄性不稔細胞質のミトコンドリアゲノムにみられる構造的特徴：川西由紀・品田博史・久保友彦・三上哲夫／AFLP および RAPD によるテンサイ連鎖地図の作成：田口和憲・大瀧直樹・萩原英揮・川崎信二・岡崎和之・高橋宙之・中司啓二・久保友彦・三上哲夫／テンサイの初冬播種栽培の可能性について：鷹田秀一／テンサイ直播栽培における高能力殺虫剤添加ペレット種子の開発について（第1報）：有田共秀・鷹田秀一・高橋幹夫・中司啓二・高橋宙之／人為春化処理によるテンサイの抽苔が糖収量に及ぼす影響：岡崎和之・大瀧直樹・高橋宙之・田口和憲・中司啓二／低温出芽性に優れるテンサイ一代雑種系統の糖収量性：高橋宙之・大瀧直樹・中司啓二／畑作地帯におけるダットンソバの栽培特性の評価：鈴木達郎・本田裕・六笠裕治・木村正義／ソバにおける三要素吸収量：茂野朋昭・我妻尚広／播種期と播種密度が有限伸育性ソバ「ほろみのり」の生育と収量に及ぼす影響：横山大理・我妻尚広

日本育種学会会員異動（2003.10.21～2004.1.20）

◇ 普通会員入会：西村努（北海道）、伊藤幸代、牛木純、久保友明、白田和人、中村英光、根岸真奈美、東直邦（茨城）、大沢実（群馬）、石崎和彦（新潟）、林健（京都）、新村和則（広島）、萩野暁子（鹿児島）、Shuzhen

Zhang（沖縄）

◇ 学生会員入会：高橋彩子、土岐尚子（青森）、イェティントゥン、船越拓（茨城）、荒井三千代（千葉）、網代卓祐、Nguen Loc Hien、桑野美緒、焦鋒、陳典（東京）、飛奈宏幸（静岡）

◇ 団体会員入会：愛知県芸術文化センター愛知図書館（愛知）

◇ 外国会員入会：Bestin Ind Crop, Hankil Hightechpia, KSDC（大韓民国）、Tonette Pacho Laude, Rita Pacho Laude（フィリピン）、AMS/UNESP, ILHA, Plant Research International, WAGENINGEN UR BIBLIOTHEEK（HOLLAND）、Collegio Postgraduado Chapingo（U. S. A.）

住所変更等

◇ 普通会員：小林創平、稲葉彰、村田吉平、柳田大介、山田哲也（北海道）、五十嵐恵、川村陽一、高館正男（青森）、高橋大輔（岩手）、千葉文弥（宮城）、中島敏彦（秋田）、田澤一二（山形）、間竜太郎、青木法明、宇賀優作、小川泰一、喜多村啓介、黒田秧、古賀重成、柴田道夫、山田哲也、山内歌子、吉岡藤治、吉田建実（茨城）、才宏偉（栃木）、大串憲祐、高橋進（群馬）、田中江里、龍島雅之（埼玉）、大倉玉圭、大村武史、矢野健太郎（千葉）、中道礼一郎、溝淵律子、山岸順子（東京）、肥塚信也、佐々木多喜雄（神奈川）、倉根剛志（長野）、渡部信義（岐阜）、高上馬希重、武田善行（静岡）、井澤敏彦、辻孝子、長谷川徹、宮崎力（愛知）、佐藤隆徳、土屋亨、山田朋宏、吉川亮（三重）、井上雅好（京都）、鈴木徹、古川真（大阪）、小林伸雄（鳥根）、植木英雄、花本央義（広島）、小田俊介、中原隆夫、浜地勇次、山口修（福岡）、根角博久（長崎）、松岡秀道（熊本）、吉永優（宮崎）、田浦悟（鹿児島）

◇ 学生会員：小出陽平、高田美和子、萩原ウィルヘルム英悟、堀内優貴（北海道）、箭内真寿美（青森）、山木辰一郎（東京）、宍戸利行（神奈川）、本多裕樹（三重）

◇ 団体会員：北海道農業研究センター畑作研究部（北海道）、（独）農業・生物系特定産業技術研究機構果樹研究所情報資料課、国際協力機構筑波国際センター図書情報室（茨城）、群馬県農業技術センター（群馬）、日産化学工業（株）生物科学研究所農業研究部バイオテクノロジーグループ（埼玉）、九州沖縄農業研究センター畑地利用部（宮崎）

◇ 外国会員：Hee-Suk You, Jae Kwon Ko, 李承美（大韓民国）、Kenji Fukunaga（U. S. A.）